

授 業 科 目 名	運動学実習	授 業 形 態	演 習
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	落合 慶之	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>基礎運動学・臨床運動学で学んだ“形式知”を、実習を通じて“暗黙知”にしていく。実習の中では計測も行い、得られたデータから考察する過程についても学ぶ。実習で実施した内容はワークシートにまとめることを課題とする。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法の評価、治療に必要なとなる運動に関する知識を修得する。（これらの知識は解剖学・生理学・物理学を基盤としたものである）</li> <li>・国家試験に必要なとなる運動学の知識を修得する。</li> </ul>		
授業回数	授業内容		
第 1 回	PBL 肩関節：肩関節外転運動の制限因子について考える		
第 2 回	PBL 股関節：股関節の関節可動域制限の制限因子について考える		
第 3 回	PBL 膝関節：膝関節の関節可動域制限の制限因子について考える		
第 4 回	PBL 姿勢：下肢関節運動連鎖の観察、片脚立位の姿勢制御の観察		
第 5 回	立ち上がり動作の運動分析①データ計測		
第 6 回	立ち上がり動作の運動分析②データ分析		
第 7 回	立ち上がり動作の運動分析 まとめ		
第 8 回	10m歩行テストを用いた歩行分析①データ計測		
第 9 回	10m歩行テストを用いた歩行分析②データ分析		
第 10 回	10m歩行テストを用いた歩行分析 まとめ		
第 11 回	階段昇降動作の運動分析①データ計測		
第 12 回	階段昇降動作の運動分析②データ分析		
第 13 回	階段昇降動作の運動分析 まとめ		
第 14 回	PBL 起き上がり動作		
第 15 回	PBL 歩行動作		
評価方法	ワークシート（100%）にて評価を行う。		
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 筋骨格系のキネシオロジー（医歯薬出版） 動作分析 臨床活用講座（メジカルビュー）</p> <p>〔参考図書〕 運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢（メジカルビュー社） 運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹（メジカルビュー社）</p>		
履修上の 留意点	実習を行うので、動きやすい格好で参加する。		
メッセージ	考える癖をつけていきましょう。		